

「滝紅中 校長日記」スマホで気軽に、パソコンでじっくりと、ぜひご覧ください！



大好きです！ 笑顔とあいさつあふれる滝紅中

令和3年6月 第4号

北区立滝野川紅葉中学校

校長 井口尚明

TEL 03-5907-5020

滝紅中だより

<教育目標> 学び考える人 優しく心豊かな人 鍛え努力する人

運動会無観客へのご理解とご協力をお願いします

緊急事態宣言が続いております。保護者の皆様、地域の方々、そして何よりも子どもたちに苦勞と我慢をお願いしなくてはならないこと、誠に申し訳なく思います。この対応はしばらく続きますが、トンネルの先にある明るい未来を信じて、安全安心を最優先とした教育活動に取り組んでまいります。皆様方のご支援とご協力も引き続きよろしく願いいたします。

さて、先日配布の運動会案内にも書かせていただきましたが、運動会が緊急事態宣言下での実施となりますので、北区感染症防止の方針に従い、保護者並びにご家族の参観をご遠慮いただかねばならなくなりました。密集を避け人流を抑えて健康と命を守るための措置ですので、ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。尚、その他の実施方法等に変更はございません。また、参観不可の代替措置としまして、運動会の映像を公開する予定です。公開方法は校長日記等を通して改めてご案内いたします。カメラマンによるスナップ写真の販売も行う予定です。

授業とは？教える先生と教わる生徒の共同作業

(5月10日朝礼校長講話)

さて、今日は日々行われている「授業」について考えてほしいと思います。高校受験を控えた3年生から、時々こんな質問をされます。

「校長先生、高校生になるためには、中学校時代にどんなことを準備しておくことが重要ですか」

その時、私はこう答えます。「それはね、毎日の授業が楽しいと思えるようにすることですよ」と。

なぜなら、高校に行っても学校生活の中心は授業です。もちろん部活動や行事などもありますが、一番多いのは日々の授業です。

その授業が楽しくなかったらどうなるでしょうか。

高校生活が楽しくなるはずはありません。これは高校生活に限ったことではありません。中学でも、大学でも、専門学校でも、学校というところは、学校生活の中心は授業です。授業を楽しみたいと思えるようにすることがとても大切なのです。

それでは「楽しいと思える授業」とはどんな授業でしょうか。皆さんはどう考えますか。

それは、「わかる授業」だと私は考えます。それまでわからなかったことがわかるようになった、できなかったことができるようになった、不思議に思っていたことが解決できた、先生が示した授業の目標が達成できてよくわかった等々。

このように充実感や満足感、うれしい気持ちなどがわき上がる授業が「わかる授業」であり、「楽しいと思える授業」ではないでしょうか。

(裏面に続く)



滝紅中の先生方は、そのような授業を行うために、放課後遅くまで残って様々な授業の準備をしてくれています。プリントや映像、スライドを作ったり、提出物などをきめ細かく点検したり、最近では、タブレットを活用する方法を考えたりもしています。生徒の皆さんがどんな気持ちで授業に取り組んでくれるだろうか、この点を常に考えて、わかる授業を行うために先生方は努力をしています。

皆さんに質問をします。わかる授業、楽しいと感じる授業は、先生たちだけが、努力すれば作ることができるのでしょうか。

先生方が一生懸命に生徒たちにわからせようと努力しても、授業を受ける生徒の皆さんにわかろうとする気持ちがなければ「わかる授業」を作ることはできません。もし、今日の授業はよくわかって、授業が楽しかったと思えたのであれば、それは先生と生徒の皆さんの両方が努力した結果だと思います。

つまり、授業とは教える先生と教わる生徒が共同して行う作業なのです。生徒と先生が、半分ずつの責任を持って授業を作っているのです。少し厳しいことを言いますが、先生の話を中心に聞けなかったり、授業道具を忘れてきたり、提出すべき課題をやってこなかったりしている人は、わかる授業を先生と一緒に作ることも、授業を楽しいと思うこともできません。まして、「今日の授業は楽しくなかった」という資格もありません。授業がおもしろくないわけですから、心から満足できる充実した学校生活を送ることはできないでしょう。

もう一度言います。授業とは教える先生と教わる生徒の共同作業です。先生方も授業の工夫に努力します。皆さんもそれに応えて努力しなければなりません。

学校生活を充実したものにするため、そして生涯にわたって学ぶことが楽しいと思えるようにするために、改めて、自分の授業への取り組み方をじっくりと見つめてみましょう。

中央委員会

中央委員会は、生徒会役員、各学年の学級委員、各種委員会の委員長が集まって行われます。学級や委員会です上がってきた学校生活上の課題について話し合い、解決策を模索するのが中央委員会の役目です。

今日の委員会では「あいさつの向上」と「タブレットの適切な使い方」の2点について、意見交換が行われました。簡単に答えが見つかる問題ではありませんが、学校全体の向上のことを考え、生徒たちは自分の意見を堂々と述べていました。かなりの勇気が必要だったと思いますが、自分の考えを人前ではっきりと述べている姿はすばらしかったです。今後も生徒たちの問題意識を高め、自分たちの手で学校を変えていこうとする自治意識を高める取り組みを充実させていきたいと考えます。（5月25日校長日記より）



北区中学生海外派遣事業の中止のお知らせ

新型コロナウイルス感染症の状況が見通せない現状から令和3年度の海外派遣事業を中止することとなりました。この事業への参加を希望していた中学2年生の皆さんにはとても残念ですが、ご理解とご協力をお願いいたします。（5月24日北区HPより抜粋）